

平成22年度

戸田市シティセールス戦略

首都に隣接 オアシス都市 憩う、育む、楽しむまち

戸田市まちづくり戦略会議

平成22年10月

戸田市シティセールス戦略

～首都に隣接 オアシス都市 憩う、育む、楽しむまち～

(目 次)

| | |
|---------------------------------|---|
| I. 戸田市シティセールス戦略策定の趣旨と概要 | 1 |
| 1. 策定の背景・目的 | 1 |
| 2. 本戦略の位置づけ | 1 |
| 3. 計画期間 | 2 |
| 4. 戸田市シティセールス戦略の概要 | 3 |
| II. シティセールスをめぐる現状と課題 | 4 |
| 1. 戸田市の現状 | 4 |
| (1) 位置 | 4 |
| (2) 交通 | 4 |
| (3) 自然、地域資源 | 4 |
| (4) 人口 | 4 |
| 2. 戸田市の都市イメージ | 5 |
| 3. シティセールスをめぐる課題と対応 | 5 |
| (1) 明確な都市イメージがない ⇒ 目指す都市イメージを構築 | 5 |
| (2) 情報発信の不足 ⇒ 情報発信力の強化 | 5 |
| (3) 個別資源の活用 ⇒ 資源や強みの活用と創出 | 5 |
| III. シティセールス展開の基本方針 | 6 |
| 1. 基本的な考え方 | 6 |
| 2. 推進の目標 | 6 |
| 3. 戸田市が目指す都市イメージ | 6 |
| 4. 推進体制 | 6 |
| IV. 推進戦略 | 8 |
| 1. ターゲット | 8 |
| (1) 対象地域 | 8 |
| (2) 対象者 | 8 |
| 2. 2つの戦略 | 9 |
| (1) 戦略1. 様々なメディア、機会を活用した情報発信 | 9 |
| ① 戸田市の広報メディアの効果的な活用 | 9 |
| ② 新たなメディア、媒体の活用 | 9 |
| ③ イベントの機会を活用した情報発信 | 9 |
| ④ ターゲットエリアでのPR活動の展開 | 9 |

| | | |
|-----|--------------------------|----|
| (2) | 戦略2. 発見！戸田市の魅力 | 9 |
| ① | シティセールス推進管理体制の確立 | 10 |
| ② | 多彩な人材を活用した情報発信の推進 | 10 |
| ③ | 戸田市を知るための学習・体験機会等の提供 | 10 |
| ④ | 強みや特性を活かした資源の磨き上げ | 10 |
| ⑤ | 戸田市の新たな魅力の開発 | 10 |
| 3. | アクションプラン | 10 |
| (1) | 戦略1. 様々なメディア、機会を活用した情報発信 | 10 |
| ① | 戸田市の広報メディアの効果的な活用 | 10 |
| ② | 新たなメディア、媒体の活用 | 11 |
| ③ | イベントの機会を活用した情報発信 | 11 |
| ④ | ターゲットエリアでのPR活動の展開 | 12 |
| (2) | 戦略2. 発見！戸田市の魅力 | 13 |
| ① | シティセールス推進管理体制の確立 | 13 |
| ② | 多彩な人材を活用した情報発信の推進 | 13 |
| ③ | 戸田市を知るための学習・体験機会等の提供 | 13 |
| ④ | 強みや特性を活かした資源の磨き上げ | 13 |
| ⑤ | 戸田市の新たな魅力の開発 | 15 |
| 4. | 重点プロジェクト | 15 |
| (1) | 情報発信力強化プロジェクト | 16 |
| (2) | フィルムコミッション設立プロジェクト | 16 |
| (3) | 市のキャラクター選定・活用プロジェクト | 16 |
| (4) | 都市イメージ強化プロジェクト | 16 |
| V. | 資料 | 17 |
| 1. | 戸田市人口移動実態調査 調査票 | 17 |
| (1) | 転入者 | 17 |
| (2) | 転出者 | 20 |
| 2. | 戸田市人口移動実態調査 分析結果 | 23 |
| 3. | まちづくり戦略会議の記録 | 23 |
| 4. | まちづくり戦略会議メンバー | 24 |

I. 戸田市シティセールス戦略策定の趣旨と概要

1. 策定の背景・目的

シティセールスとは、まちの魅力を市内外にアピールし、人や企業に関心を持ってもらい、誘致や定着を図ることで、将来にわたるまちの活力を得ることにつながる活動です。

今、我が国は人口減少社会を迎えています。都市間競争が進む中、他との差別化を図り、住民や企業に「わがまち」を選択してもらう活動に力を入れる自治体が増えています。

戸田市は、2007年「サステナブル都市調査」¹において、全国第3位(県内第1位)、さらに、2008年「行政サービス調査」²サービス水準総合ランキングで全国第8位(県内第1位)など、いわば都市の基礎力で外部から高い評価を受けています。しかし、本市の認知度は低く、魅力や住みよさなどが市内外に充分認識されていない状況にあります。そこで、本市もシティセールスに取り組むことで、まちの魅力を積極的にアピールする必要があるのではないかと考えました。

これを受け平成20年度に戸田市政策研究所、平成21年度には、まちづくり戦略会議と戸田市政策研究所が連携し、2ヶ年にわたり「戸田市におけるシティセールスの必要性和成功する要件について」の研究³を行いました。その結果、本市においてもシティセールスの取り組みが必要であるとの結論が得られております。

本戦略は、この研究を踏まえ、本市のシティセールスの方向性を示し、取り組みを的確に進めるために策定しました。

2. 本戦略の位置づけ

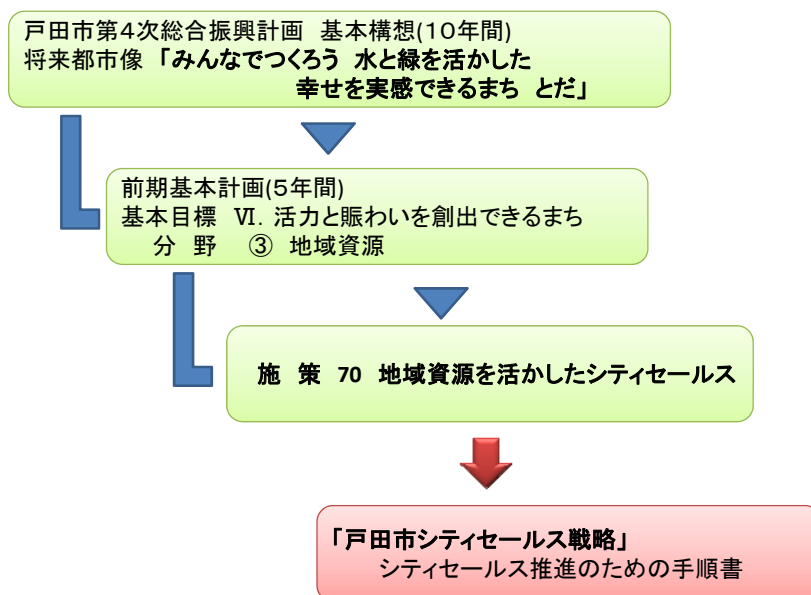
本戦略は、第4次総合振興計画基本構想に掲げる将来都市像の実現に向けた、基本目標「6. 活力と賑わいを創出できるまち」、分野③「地域資源」、施策70「地域資源を活かしたシティセールス」の達成に向け、本市の持つ強みや特徴＝地域資源を十分に活かし、魅力を創造し発信する、シティセールス推進の手順書と位置付けます。

¹ 日本経済新聞社が平成19年10月に全国782市を対象に実施。「環境」「経済・財政」「暮らし」の71指標から偏差値を算出し、3分野の平均値を総合評価としたものである。

² 日本経済新聞社が平成20年9月に全国806市区を対象に実施。「行政サービス水準」と「行政革新度」の調査で構成。「サービス水準」は5分野のサービス毎に得点化したものである。

³ 「戸田市におけるシティセールスの必要性和成功する要件について」戸田市政策研究所・戸田市まちづくり戦略会議 平成22年3月

○総合振興計画との関連



3. 計画期間

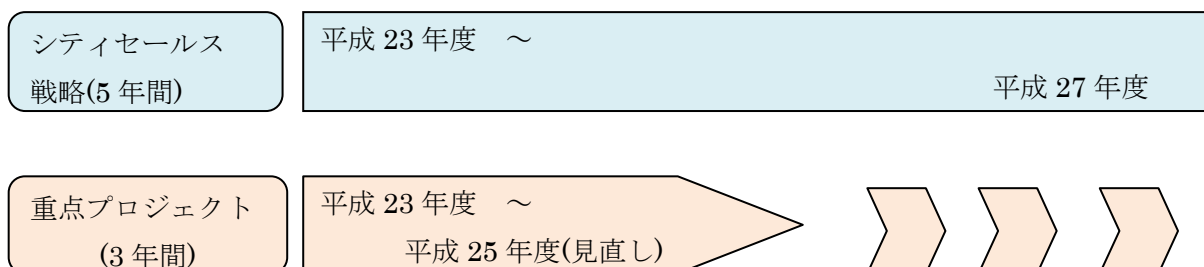
前項の位置づけを踏まえ、本戦略の計画期間を次のように設定します。

本戦略の計画期間は、第4次総合振興計画、前期基本計画に合わせ、平成23年度から27年度の5年間とします。

また、本戦略「Ⅲ. 2. 推進の目標」をより短期間で実現するにあたり、効果が高い取り組みを「重点プロジェクト」と位置づけ、集中的に取り組めます。

重点プロジェクトの計画期間は、平成23年度から25年度の3年間とします。

なお、3年経過時点で、進捗状況に合わせ、重点プロジェクトの見直しを行います。



4. 戸田市シティセールス戦略の概要

シティセールスを行う最終目的

人や企業を呼び込み、引き留めることにより、将来にわたりまちの活力を維持する
⇒その結果、持続的・安定的な都市経営が可能となり住民福祉が向上する

○シティセールス展開目標

戸田市が目指す都市イメージ

「首都に隣接 オアシス都市 憩う、育む、楽しむまち」

を実現する

戸田市第4次総合振興計画・分野別個別計画

戸田市の魅力向上

戸田市シティセールス戦略

推進の目標

認知度と都市イメージの向上

市民の誇り、愛着心の向上

2つの戦略

1. 様々なメディア、機会を活用した情報発信

- (1) 戸田市の広報メディアの効果的な活用
- (2) 新たなメディア、媒体の活用
- (3) イベントの機会を活用した情報発信
- (4) ターゲットエリアでのPR活動の展開

2. 発見！戸田市の魅力

- (1) シティセールス推進管理体制の確立
- (2) 多彩な人材を活用した情報発信の推進
- (3) 戸田市を知るための学習・体験機会等の提供
- (4) 強みや特性を活かした資源の磨き上げ
- (5) 戸田市の新たな魅力の開発

65のアクションプラン

4つの重点プロジェクト

- (1) 情報発信力強化
- (2) フィルムコミッション設立
- (3) 市のキャラクター選定・活用
- (4) 都市イメージ強化

Ⅱ. シティセールスをめぐる現状と課題

1. 戸田市の現状

(1) 位置

戸田市は、埼玉県の南東部に位置し東京都に隣接、東京都心から約 20 k m の距離にあります。面積は約 18k m²、市内は海拔約 1 ～ 4 m、市域全体が平坦な土地で、東は埼玉県川口市、西は埼玉県朝霞市と和光市、荒川を隔てて東京都板橋区と北区、北はさいたま市と蕨市に接しています。



関東圏内の位置



都心から 20 k m 圏に位置

(2) 交通

本市は、古より荒川の渡船場として栄えてきました。市内を南北に貫く旧中山道には、「戸田渡船場跡」があります。

現在、道路は、南北に首都高速道路 5 号線、国道 17 号が走り、東西に走る東京外かく環状道路、国道 298 号が、市内で交差しています。また、鉄道は JR 埼京線が南北に走っており、北戸田駅・戸田駅・戸田公園駅の 3 駅があります。都心へのアクセスは、JR で新宿副都心へ約 20 分、車で首都高速都心環状線へ約 30 分という、非常に利便性の高い位置にあります。

(3) 自然、地域資源

東京都境を流れる荒川堤内外には、豊かな緑が広がっています。年間約 100 万人の来場者がある「彩湖・道満グリーンパーク」や、「戸田ボートコース」のある戸田公園などを持つ、首都に隣接しながら、豊かな水と緑の空間に恵まれた都市です。

(4) 人口

戸田市は、昭和 41 年市制施行時の人口は約 5 万人でしたが、昭和 60 年の埼京線開通以降増加傾向にあり、現在は 12 万人を超えました。日本が人口減少社会を迎えた中で、現在も人口が増加しており今後も増加を続ける見込みです⁴。

人口動態では転出入人口が年間約 2 万人であり、人口の入れ替わりが多く、社会増が

⁴ 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(2008年12月推計)」

続いています。また自然増加率は、全国・埼玉県平均を常に上回っています。しかし今後、高齢化率の予測が全国の自治体でも高位に入るなど、急激な高齢化が予想されています。

2. 戸田市の都市イメージ

シティセールスの方向を導くために、本市の認知度や、都市イメージなどの調査⁵を行いました。その結果、戸田市の現在の都市イメージは、次のようなものでした。

○認知度が低く、都市イメージの希薄なまち

都市の認知度調査において、全国的に戸田市の認知度は低い。

また、市民の戸田市に対するイメージ調査においては、「平凡なまち」が上位に位置するなど、強い明確な都市イメージを持たない都市である。

3. シティセールスをめぐる課題と対応

戸田市の現在の都市イメージを基に、シティセールスをめぐる課題と対応を、整理すると次のようになります。

(1) 明確な都市イメージがない ⇒ 目指す都市イメージを構築

戸田市は現在、認知度が低く、明確で強い都市イメージを持たれていない状況にあります。シティセールス活動を行うためには、統一された都市イメージが必要です。そこで、シティセールスを開始するにあたり、最初に、目指す良好な戸田市のイメージを構築し、次にそのイメージを市内外に伝えるという手順を進めることが望ましいと考えられます。

(2) 情報発信の不足 ⇒ 情報発信力の強化

戸田市は、高い都市ランキングの評価に表わされているように、行政サービスが充実し、都市の基礎力が高いといえます。しかし、それが市内外に有効に浸透しておらず、認知度や都市イメージの向上に結び付いていないと考えられます。そこで、効果的な情報発信を強力に進める必要があります。

(3) 個別資源の活用 ⇒ 資源や強みの活用と創出

戸田市は、「彩湖・道満グリーンパーク」や「戸田ボートコース」などに代表される水と緑の空間や、高い交通利便性など、多くの資源や強みを持っています。しかし低い認知度、不明確な都市イメージから考えると、その資源が有効に活用されていないといえます。そこで、シティセールス活動を通じて、戸田市が訴えるべき価値をあらためて整理し、資源や強みを有効に活用する方策を進めるとともに、新たな資源の創造や発掘にも積極的に取り組むことが必要です。

⁵ 「政策開発の手法と実践～自治体シンクタンク戸田市政策研究所の可能性」p179～194
東京法令出版 平成21年2月を参照

Ⅲ. シティセールス展開の基本方針

1. 基本的な考え方

都市のブランドには、都市が持つ統一的なイメージと、地産や観光等の個別ブランドがあります。シティセールスを開始するにあたり、この2つの関係を整理するとともに、前章で整理した課題と対応を踏まえ、戸田市のシティセールス展開の基本的な考え方を次のように設定しました。

まず、魅力的な「戸田市のイメージ」を創出し、市内外に積極的に発信することにより、戸田市への関心を高めます。このシティセールス活動を継続することで、次第に「戸田市らしさ=都市ブランド」が確立されます。この「都市ブランド=戸田市ブランド」が広く認知されることで、やがて本市の持つ個別ブランドに波及し、個別ブランドとの相乗効果により都市イメージがさらに高まるという、良い循環を創りだすことができます。また、活動を通じ戸田市に対する市民の誇りや愛着心が醸成されることにより、市民によるシティセールス活動へとつながっていくことが期待できます。

シティセールスの最終的な目的は、戸田市に人や企業を呼び込むとともに、市内への引き留めを図ることで、将来にわたり戸田市の活力を維持し、持続的、安定的な都市経営による住民福祉の向上を目指すことにあります。

2. 推進の目標

基本的な考え方を踏まえ、戸田市のシティセールスの推進目標を、次の2つに設定しました。

- (1) 「認知度と都市イメージの向上」
- (2) 「市民の誇り、愛着心の向上」

3. 戸田市が目指す都市イメージ

平成 21 年度のまちづくり戦略会議・政策研究所の研究において、本市の持つ魅力・強み、資源などを分析し、本市が最も訴えるべき価値を抽出、そこから、戸田市が目指す都市イメージを設定しています。

目指す都市イメージ：「首都に隣接 オアシス都市 憩う、育む、楽しむまち」

シティセールス活動は、この都市イメージの実現に向けて行う、様々な取り組みと行うことができます。

4. 推進体制

シティセールスの推進にあたっては、行政だけでなく、地域を担う、様々な関係団体、企業、NPO などと連携を図りながら進めることにより、高い成果が期待できます。

これらの様々な主体を巻き込みながら、本市のシティセールスを担う体制を構築していく必要があります。

IV. 推進戦略

1. ターゲット

シティセールスのターゲットについては、対象地域(ターゲットエリア)と対象者を明確にすることで、活動を集中し高い成果を上げることができます。

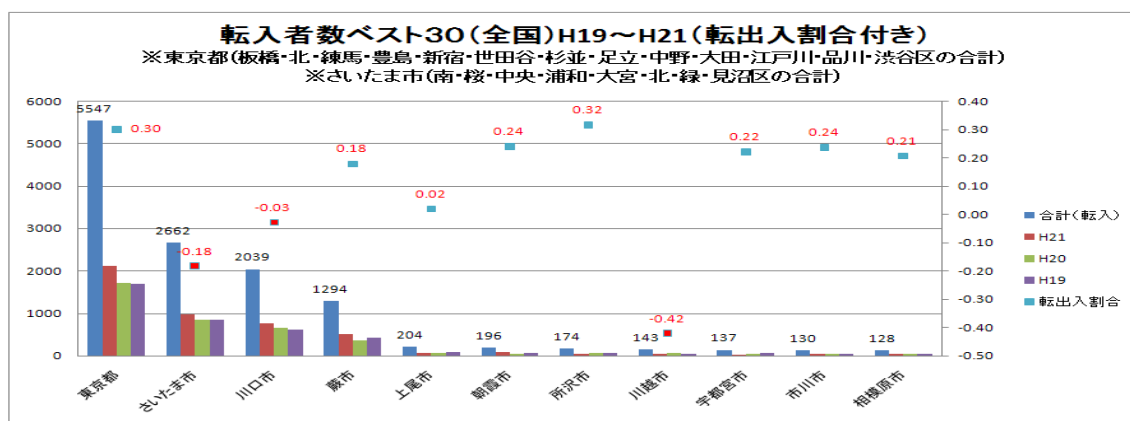
ターゲットの設定にあたっては、転出入者数⁶および転出入者への意識調査⁷を行い参考にしている。

(1) 対象地域

対象地域(ターゲットエリア)については、平成19年度から21年度の3年間の転入転出者数をもとに検討を行いました。

その結果、転入については、東京都(上位は、板橋区、北区、練馬区の順)からの転入者が多く、さいたま市、川口市、蕨市と続きます。しかし、転出入者数の割合からは、東京都については転入者が転出者を上回り、対して、さいたま市、川口市は転出者が転入者を上回っています。また、移動の範囲は隣接する市区が上位を占めています。

以上のことから、シティセールスを行う対象地域を、まず、隣接する市区で、かつ転入者が転出者を上回る市区～板橋区、北区と設定し、次に転入者が上位に位置する市区～さいたま市、川口市、蕨市を設定します。



出典：戸田市市民生活部市民課

(2) 対象者

対象者については、推進目標に沿って検討を行いました。まず、「認知度と都市イメージの向上」を図るために、市外については、本市に関心を持ち、訪れようとする、あるいは転入しようとする方が対象となります。特に、転入予備軍に対してのアプローチが重要となります。

⁶ 平成19年度～平成21年度3年間の転入転出届け受付状況から、転入転出者数、転入転出地、転入転出割合を集計した。数値は住民基本台帳人口移動報告とは一致しない。

⁷ 戸田市への転入者および転出者に対して、平成22年10月に意識調査を実施した。詳細はV. 資料に記している。

次に、推進目標「市民の誇り、愛着心の向上」を図るため、市民に向けたアプローチも重要となります。そこで、市民も対象とします。

また、シティセールスの最終的な目的、「将来にわたりまちの活力を維持し、持続的、安定的な都市経営による住民福祉の向上を図る」ために、とりわけ若い活力ある世代へのアプローチに力を入れます。

2. 2つの戦略

シティセールスの2つの推進目標、「認知度と都市イメージの向上」「市民の誇り、愛着心の向上」を達成するためには、戸田市の魅力を向上させることと併せ、効果的な情報発信により認知度を高め、戸田市を理解してもらうことが重要です。

そこで、シティセールスの推進に向け「様々なメディア、機会を活用した情報発信」と、「発見！戸田市の魅力」の2つの戦略を設定し取り組みます。

それぞれについて、具体的な取り組み=アクションプランを設けて進めます。

(1) 戦略1. 様々なメディア、機会を活用した情報発信

戸田市の持つ様々な魅力や資源の認知度を高めるため、市内外の方への戸田市の情報への接触度を増やすことが必要です。従来から行政の持っている広報メディアでの発信力強化と、パブリシティ活動(プレスリリースなど行政情報の提供)の強化を進めます。また、民間等との連携を前提とした新たなメディアの活用戦略を策定し、情報発信を進めます。

① 戸田市の広報メディアの効果的な活用

市が発行、作成する広報媒体をさらに充実させるとともに、シティセールスの視点で効果的に取り入れていきます。

② 新たなメディア、媒体の活用

今まで活用してこなかったメディアや媒体を積極的に活用します。また、新たなメディアの活用やパブリシティ活動の強化について、市の方向性を明らかにするための指針を策定します。

③ イベントの機会を活用した情報発信

市内で開催される様々なイベントの機会を活用し情報発信を進めます。それぞれのイベントの企画や、HP、パンフレットなどに、シティセールスの要素を取り入れていきます。

④ ターゲットエリアでのPR活動の展開

IV. 1. で設定したターゲットエリアを中心とし、様々な媒体を使ったシティセールス活動を展開します。

(2) 戦略2. 発見！戸田市の魅力

市民が戸田市の魅力を再発見し、戸田市への「誇り」や、「愛着心」が醸成されるよう、市民や企業、関連団体と連携しながら、既存の資源や魅力を更に磨きあげる取り組み

を進めます。また、戸田市の持つ様々な強みを活かした新たな資源・魅力の創出を図ります。

① シティセールス推進管理体制の確立

シティセールスの推進にあたっては、進捗を管理しながら、シティセールスを取りまく状況変化に対応し、的確な対応をとることが重要です。そこで、行政、関連団体、企業、市民、学識経験者などで構成される連絡会議を設置し、推進管理体制を確立します。

② 多彩な人材を活用した情報発信の推進

シティセールスを市内外からサポートする、市民特派員、シティセールス大使、ふるさと市民などの制度導入について検討します。

③ 戸田市を知るための学習・体験機会等の提供

市民や戸田市に関心を持つ人に、戸田市のことをよく知ってもらい、住むことの誇りや愛着を持っていただくことは、シティセールスを進める上で重要です。そこで、市民等が参加しやすい学習や体験の機会を設けます。

④ 強みや特性を活かした資源の磨き上げ

戸田市の資源ともいえる、先進的、あるいは特徴があり高い評価を得ている取り組みや施設などを、さらに充実させることで資源そのものの磨き上げを図ります。また、これらについて積極的にPRします。

⑤ 戸田市の新たな魅力の開発

戸田市の魅力を更に高めるため、新たな取り組みを開始します。これらは、戸田市の新たな資源の創造や発掘につながります。

3. アクションプラン

それぞれの戦略毎に、次のように具体的な取り組み＝アクションプランを設定し、取り組んでいきます。

(1) 戦略1. 様々なメディア、機会を活用した情報発信

① 戸田市の広報メディアの効果的な活用

| NO | アクションプラン名 | 所管課 | 実施年度 |
|----|-------------------------|-----------------|--------------------------|
| 1 | 「広報戸田市」「ふれあい戸田」での情報発信強化 | 政策秘書室 | 平成23年度より |
| 2 | シティセールスブック(市勢要覧)の発行 | 政策秘書室 | 平成23年度発行 (市制施行45周年事業) |
| 3 | 市のプロモーションビデオ制作 | 政策秘書室 | 平成23年度作成 (市制施行45周年事業) |
| 4 | 市のHPの積極的な活用 | 担当課、政策秘書室、情報統計課 | 平成23年度より |

| | | | |
|---|-------------------|-----------|----------|
| 5 | 民間企業等と連携したPR活動の展開 | 担当課、経営企画課 | 平成23年度より |
|---|-------------------|-----------|----------|

② 新たなメディア、媒体の活用

| NO | アクションプラン名 | 所管課 | 実施年度 |
|----|-----------------------|-------------|----------|
| 6 | 「戸田市広報戦略」の策定 | 政策秘書室 | 平成23年度策定 |
| 7 | インターネットを利用した動画サイト等の活用 | 担当課、情報統計課 | 平成23年度より |
| 8 | 携帯電話サイトの充実 | 担当課、情報統計課 | 平成23年度より |
| 9 | イベントカレンダーでの情報提供の充実 | 担当課、情報統計課 | 平成23年度より |
| 10 | フィルムコミッションの設立 | 政策秘書室、経済振興課 | 平成23年度設立 |

③ イベントの機会を活用した情報発信

(来場者 1,000 人以上、主なイベントについて記載)

| NO | イベント | 所管課 | 来場者・参加者数 | 会場 |
|----|----------------|-----------------------------|------------|--------------|
| 11 | 戸田ふるさと祭り・青少年祭り | コミュニティ推進課、児童青少年課 (実行委員会) | 約 80,000 人 | ボートレース戸田 |
| 12 | 市民生活展、戸田農の秋祭り | 防犯くらし交通課、経済振興課 | 約 4,000 人 | 市役所駐車場 |
| 13 | 環境フェア | 環境クリーン室 (実行委員会) | 約 30,000 人 | 市役所駐車場 |
| 14 | 戸田マラソン大会 | 文化スポーツ課 | 約 14,000 人 | 彩湖・道満グリーンパーク |
| 15 | レクリエーション大会 | 文化スポーツ課 | 約 2,300 人 | スポーツセンター |
| 16 | 各種ボート競技大会 | 文化スポーツ課 (各主催団体) | - | ボートコース |

| | | | | |
|----|---------------------|------------------------|-------------|----------------------|
| 17 | 戸田音楽祭 | 文化スポーツ課 (文化協会) | 約 7,000 人 | 文化会館等 |
| 18 | 戸田市文化祭、文化祭芸能フェスティバル | 文化スポーツ課 (文化協会) | 約 5,600 人 | 文化会館等 |
| 19 | 市民ミュージカル | 文化スポーツ課 (文化体育振興事業団) | 約 2,100 人 | 文化会館等 |
| 20 | 戸田市美術展覧会(市展) | 文化スポーツ課 (実行委員会) | 約 3,600 人 | 文化会館等 |
| 21 | 戸田橋花火大会 | 経済振興課 | 約 350,000 人 | 荒川河川敷 |
| 22 | 商工祭、商工会のイベント | 経済振興課 | 約 35,000 人 | 市役所周辺 |
| 23 | 植木市 | 経済振興課 | 約 39,000 人 | 市役所周辺 |
| 24 | イルミネーション | 経済振興課、児童青少年課 | - | 北大通り、こどもの国、こどもの国周辺道路 |
| 25 | 地域福祉まつり | 福祉総務課 (社会福祉協議会) | 約 3,500 人 | ボートレース戸田 |
| 26 | 老人スポーツ大会 | 長寿福祉課 | 約 1,000 人 | スポーツセンター |
| 27 | プリムローズの大型イベント | こども家庭課 (指定管理者) | 約 5,200 人 | 児童センター |
| 28 | こどもの国まつり | 児童青少年課 | 約 3,600 人 | こどもの国 |

④ターゲットエリアでのPR活動の展開

| NO | アクションプラン名 | 所管課 | 実施年度 |
|----|-------------|-------|----------|
| 29 | 市外でのPR活動の強化 | 政策秘書室 | 平成23年度より |

(2)戦略2. 発見！戸田市の魅力

①シティセールス推進管理体制の確立

| NO | アクションプラン名 | 所管課 | 実施年度 |
|----|-------------------|----------------------|----------|
| 30 | (仮)シティセールス連絡会議の設置 | まちづくり戦略会議 (政策秘書室) | 平成24年度より |

②多彩な人材を活用した情報発信の推進

| NO | アクションプラン名 | 所管課 | 実施年度 |
|----|-------------------|-----------------|----------|
| 31 | シティセールスのサポート体制の整備 | 政策秘書室、経営 企画課 | 平成23年度より |

③戸田市を知るための、学習・体験機会等の提供

| NO | アクションプラン名 | 所管課 | 実施年度 |
|----|---|-----------------|----------|
| 32 | 市のプロモーションビデオの各種研修会 などでの活用、HP等を活用した放映 | 政策秘書室、担当 課 | 平成24年度より |
| 33 | 企業見学などを取り入れた市内体験ツア ーの開催 | 政策秘書室、経済 振興課 | 平成23年度より |
| 34 | ボートコースを使った一般向け体験イベ ント(市民ボート教室・市民大会)の開催 | 文化スポーツ課 | 平成23年度より |
| 35 | ウォーキング大会の開催 | 文化スポーツ課 | 平成23年度より |
| 36 | 駅からハイキングの開催 | 経済振興課 (観光協会) | 平成23年度より |
| 37 | 各種講座による戸田市の魅力、資源の 再発見 | 生涯学習課、講座 担当課 | 平成23年度より |

④強みや特性を活かした資源の磨き上げ

| NO | 資源 | 所管課 |
|----|--------------------|-----------------|
| 38 | ボートコースの池蝶貝真珠の活用 | 政策秘書室、経済 振興課 |
| 39 | 「いいとだスポット」の提供 | 担当課、情報統計 課 |
| 40 | 「いいとだマップ」での多彩な情報提供 | 担当課、情報統計 課 |

| | | |
|----|--|----------------------|
| 41 | 住民票等取得の利便性の向上 | 市民課 |
| 42 | 地域通貨戸田オール | コミュニティ推進課 |
| 43 | 積極的な市民活動の支援(ボランティア・市民活動支援センター、市民活動サポート補助金) | コミュニティ推進課 |
| 44 | 活発な防犯パトロール | 防犯くらし交通課 |
| 45 | 環境問題への先進的な取り組み | 環境クリーン室 |
| 46 | ランニングとウォーキングのまち | 文化スポーツ課 |
| 47 | 戸田音楽祭 | 文化スポーツ課 |
| 48 | 戸田市美術展覧会 | 文化スポーツ課 |
| 49 | 名産品創出事業 | 経済振興課 |
| 50 | 起業支援センター | 経済振興課 |
| 51 | ビジネスインフォメーションセンターTBIC | 経済振興課 |
| 52 | 観光マップ、観光絵葉書の作成 | 経済振興課 |
| 53 | 優良推奨品認証制度 | 経済振興課 |
| 54 | 工業見える化事業 | 経済振興課 |
| 55 | 充実した子育て支援 | こども家庭課、保育幼稚園課、児童青少年課 |

| | | |
|----|------------------------|-----------------|
| 56 | 戸田市の景観 | 都市計画課 |
| 57 | 水と緑と花のまちづくり | 都市計画課、公園緑地課、河川課 |
| 58 | 彩湖道満グリーンパーク、彩湖自然学習センター | 公園緑地課、図書館・郷土博物館 |
| 59 | 土地区画整理事業による高水準な基盤整備率 | 土地区画整理事務所 |
| 60 | 予防医療の充実 | 健康推進室 |

⑤戸田市の新たな魅力の開発

| NO | アクションプラン名 | 所管課 | 実施年度 |
|----|----------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 61 | 戸田市のキャラクターの選定と活用 | 経営企画課 | 平成23年度選定 平成24年度活動開始 |
| 62 | ふるさと祭り・青少年祭りでの新たなイベント創出 | コミュニティ推進課、児童青少年課、生涯学習課 | 平成24年度より |
| 63 | 彩湖道満グリーンパークを活用した新たなイベントの開催 | 担当課、経済振興課(観光協会)、公園緑地課(公園緑地公社) | 平成24年度より |
| 64 | サテライト大学の設置 | 生涯学習課 | 平成25年度設置 |
| 65 | ペットボトル水の製造 | 施設課、業務課 | 平成23年度製造 (市制施行45周年事業) |

4. 重点プロジェクト

アクションプランのうち、シティセールスを展開する上で、短期間で高い効果が期待できる取り組みを抽出し、重点プロジェクトとして推進します。

これらを平成23年度から3年間で集中的に進めることで、より高い成果を求めます。これら4つの取り組みは、シティセールス全体を牽引するリーディング事業の役割も果たします。

(1) 情報発信力強化プロジェクト

- ・「戸田市広報戦略」を策定し、多様な主体の、様々な媒体を利用した広報活動の方向性を示し、戸田市の情報発信力強化を図ります。

⇒平成 23 年度策定(政策秘書室)

(2) フィルムコミッション設立プロジェクト

- ・都心に近い地の利を生かし、フィルムコミッションを設立します。戸田市の認知度向上や、市民の愛着心の醸成を目指し、活動を開始します。

⇒平成 23 年度設立(経済振興課、政策秘書室)

(3) 市のキャラクター選定・活用プロジェクト

- ・統一した市のキャラクターを選定し、シティセールスに活用します。

⇒平成 23 年度選定、24 年度活動開始(経営企画課)

(4) 都市イメージ強化プロジェクト

目指す都市イメージを作り上げるための、基礎となる取り組みに力を入れます。また、これらについては、特に強力に情報を発信していきます。

- ・水と緑と花のまちづくり

三軒協定、水と緑のネットワーク形成プロジェクト、華かいどう 21、ワークショップ方式での公園整備、清流ルネッサンスⅡ(都市計画課、公園緑地課、河川課)

- ・先進的な環境の取り組み

花苗と生ごみの交換、フェルトガーデン戸田、緑のカーテン、電気自動車購入補助、公共施設への電気自動車用充電設備設置、生ごみ堆肥を姉妹都市に供給、花ロード美女木(環境クリーン室)

- ・彩湖道満グリーンパークを活用した新たなイベントの開催(担当課、公園緑地課、経済振興課)

- ・ボートコースを使った一般向け体験イベント(市民ボート教室・市民大会)の開催(文化スポーツ課)

V. 資料

1. 戸田市人口移動実態調査 調査票

(1) 転入者

戸田市人口移動実態調査 ご協力のお願い

日ごろから市政へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
戸田市政策研究所は、戸田市の市政運営について、調査研究を行うことを目的に設置されている機関です。

さて、本研究所では、今後の市政運営に生かすため、転入者の方々への意識調査を実施しております。

この調査は平成21年度中に戸田市へ転入された方のうち、平成22年9月1日現在において、戸田市の住民基本台帳および外国人登録原票に登録されている18歳以上の市民の皆様から900人の方を無作為に選んでお願いしております。ご多用のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひこのアンケートにお答えくださいますよう、お願いいたします。

なお、このアンケートに関して個人の意見が公表されることは一切ありませんので、ぜひ率直なご意見をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

平成22年10月

戸田市政策研究所長 山田 一彦

◆ご記入の前に◆

1. 回答のしかた

- ・この調査票は、封筒宛名のご本人がご記入ください。
- ・質問は全部で17問です。各質問の説明に従って、回答欄にご記入ください。筆記用具の種類は問いません。

2. 返送のしかた

回答が済みましたら、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに11月1日(月)までに投函してください。封筒や調査票にご住所・お名前を記入する必要はありません。

3. お問い合わせ

〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1 戸田市役所
戸田市政策研究所
電話 048-441-1800 (内線470)
FAX 048-431-6790
E-mail seisaku@city.toda.saitama.jp

なお、この調査結果につきましては、戸田市ホームページ等で概要を公表する予定です。

戸田市人口移動実態調査票 転入用

| | | |
|-----|------|-------|
| 現住所 | 戸田市 | 丁目 |
| 前住所 | 都道府県 | 市区町丁目 |

次の質問について、あてはまる番号を回答欄に記入して下さい。

I 移動前後の世帯構成等について

【回答欄】

| | | |
|-------|---|--|
| 問 1-1 | 移動前後の世帯の構成についてお尋ねします。 【移動前】 1. ひとり世帯 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居 (親と子ども) 4. 三世帯同居 (祖父母と親と子ども) 5. その他 【移動後】 1. ひとり世帯 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居 (親と子ども) 4. 三世帯同居 (祖父母と親と子ども) 5. その他 | |
|-------|---|--|

II 移動の原因となった方について

【回答欄】

| | | |
|---|---|---|
| 問 2-1 | 今回移動された方のうち、移動の最も大きな原因となった方はどなたですか。 1. 世帯主 2. 世帯主の親 3. 世帯主の子ども 4. 世帯主の配偶者 5. その他 () | |
| 以降の質問は問 2-1 で答えた方 (移動の最も大きな原因となった方) についてお尋ねします。 | | |
| 問 2-2 | 問 2-1 で移動の最も大きな原因となった方の移動時の年齢についてお尋ねします。 | |
| 問 2-3 | 問 2-1 で移動の最も大きな原因となった方の性別についてお尋ねします。 | |
| 問 2-4 | 問 2-1 で移動の最も大きな原因となった方の職業についてお尋ねします。 | |
| 問 2-5 | 問 2-4 で 1～8 と答えた方にお尋ねします。現在の通勤・通学場所について記入して下さい。 | <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> 都道府県 <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> 市区町村 |
| 問 2-6 | 問 2-1 で移動の最も大きな原因となった方は、以前戸田市に住んでいたことがありますか。 | 1. 初めて 2. 住んでいたことがある |
| 問 2-7 | 問 2-6 で「2. 住んでいたことがある」と答えた方に伺います。戸田市には何年お住まいでしたか。 | 1. 1年未満 2. 1～3年未満 3. 3～5年未満 4. 5～10年未満 5. 10～20年未満 6. 20年以上 |
| 問 2-8 | 転動等により、今後概ね5年以内に戸田市から転出する可能性がありますか。 | 1. はい 2. いいえ |

III 移動理由について

【回答欄】

| | | |
|-------|--|--|
| 問 3-1 | 移動のきっかけとなった理由を下記 (1～18) の中から選んで当てはまる番号を記入して下さい。 ※第 2 理由についてはある方のみで結構です。 | |
| | 学業上の理由 1. 入学・進学 職業上の理由 2. 就職 3. 転職 4. 転動 5. 家業継承 6. 定年退職 住宅を主とする理由 7. 住宅事情 8. 生活環境上の理由 9. 通勤通学の利便性 親・子との同居・近居 10. 親と同居 11. 親と近居 12. 子と同居 13. 子と近居 結婚・離婚 14. 結婚 15. 離婚 その他 16. 子育て環境上の理由 17. 健康上の理由 18. 親等の介護 19. その他 () | 第 1 理由 <input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/> 第 2 理由 <input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/> |

IV 居住地選択の候補地について

【回答欄】

| | | |
|-------|--|-------------------|
| 問 4-1 | 現在のご住所を決めるにあたり、現住所以外にどこか他の地域も探しましたか。 | 1. 探した 2. 探さない |
| 問 4-2 | 問 4-1 で「1. 探した」と答えた方に伺います。当てはまる番号を各 1 つだけ記入して下さい。 | |
| (市外で) | 1. 板橋区 2. 東京都北区 3. 新宿区 4. 練馬区 5. 豊高区 6. 川口市 7. さいたま市南区 8. 蕨市 9. さいたま市桜区 10. その他 () 11. 市外では探していない | |
| (市内で) | 1. 喜沢 2. 中町 3. 下戸田 4. 喜沢南 5. 下前 6. 川岸 7. 上戸田 8. 大字上戸田 9. 本町 10. 南町 11. 戸田公園 12. 大字新曾 13. 新曾南 14. 氷川町 15. 大字下笹目 16. 笹目南町 17. 笹目北町 18. 早瀬 19. 笹目 20. 美女木 21. 美女木東 22. 大字美女木 23. 市内では探していない | |

| V 居住地選択の理由について | | 【回答欄】 |
|--|--|--|
| 問 5-1 戸田市に居住地を決めた理由をお尋ねします。 次の項目(1~20)から2つ選び、当てはまる番号を優先順位の高いものから回答欄に記入して下さい。 | | 第1理由 <input type="text"/> 第2理由 <input type="text"/> |
| 1. 通勤・通学が便利であるから 2. 買い物等日常生活が便利だから 3. 道路事情がよいから 4. 広域的な公共交通の利便性が高いから 5. 市内公共交通の利便性が高いから 6. 良好な住環境が整備されているから 7. 子育て環境が充実しているから 8. 高等教育機関が充実しているから 9. 治安がよいから 10. 医療・福祉が充実しているから 11. 自然災害が少ないから 12. 公園や自然環境が豊かであるから 13. スポーツをする場が豊富であるから 14. 文化施設が充実しているから 15. 中心市街地に活気があるから 16. 就業の場が豊富であるから 17. 生まれ育ったところだから 18. 親等親族の居住地から近いから 19. あらかじめ住居が用意されていたから 20. その他 () | | |
| 問 5-2 戸田市の中で、現在お住まいの住所地(町丁目)に決めた理由をお尋ねします。 次の項目(1~23)から2つ選び、当てはまる番号を優先順位の高いものから回答欄に記入して下さい。 | | 第1理由 <input type="text"/> 第2理由 <input type="text"/> |
| ① 日常生活の利便性 | 1. 職場や学校に近いから 2. 公共交通の利便性が高いから 3. 幹線道路や高速道路へのアクセスがよいから 4. 商店や金融機関が近くにあり、買い物等日常生活が便利だから | |
| ② 住宅事情 | 5. 取得価格、家賃が適当であったから 6. 日照等立地条件がよいから 7. 広さが適当であったから 8. 防火設備や耐震強度が十分であったから | |
| ③ 養育・教育環境 | 9. 幼稚園、保育所等が近くにあるから 10. 通学区域となる小学校・中学校の教育環境がよいから | |
| ④ 医療・福祉・防災 | 11. 医療機関、福祉施設が近くにあるから 12. 学校施設等災害や緊急時への避難場所が近くにあるから | |
| ⑤ 景観・自然環境 | 13. 公園などが近くにあるから 14. 山や川・里山等身近に自然があるから 15. 周辺の街並み、景観がよいから | |
| ⑥ 余暇活動・趣味 | 16. 健康・スポーツ施設が近くにあるから 17. 美術館等文化施設が近くにあるから 18. 娯楽施設が近くにあるから | |
| ⑦ その他 | 19. あらかじめ住居が用意されていたから(社宅・寮・家族の元へ同居等) 20. 近隣住民のコミュニケーションが良好であるから 21. 生まれ育ったところだから 22. 特に理由はない 23. その他 () | |
| VI 戸田市への定住意向について | | 【回答欄】 |
| 問 6-1 今後も戸田市に住み続けたいと思いますか。当てはまる番号を回答欄に記入してください。 | | <input type="text"/> |
| 1. ぜひ戸田市に住み続けたい 2. できれば戸田市に住み続けたい 3. できれば他の市区町村に移りたい 4. ぜひ他の市区町村に移りたい 5. わからない | | |
| VII 移動前後の住宅の所有関係等について | | 【回答欄】 |
| 問 7-1 住宅の所有関係についてお尋ねします。当てはまる番号を回答欄に記入して下さい。 | | 移動前 <input type="text"/> 移動後 <input type="text"/> |
| 1. 持家(一戸建) 2. 持家(分譲マンション) 3. 公営住宅(公団・公社・市県営住宅等) 4. 民間の借家(アパート・賃貸マンション等) 5. 民間の借家(アパート・賃貸マンション等) 6. 給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮等) 7. 学生寮 8. 間借り・下宿 9. 施設(病院・福祉施設等) 10. 親戚の家 11. その他 () | | |
| 問 7-2 住宅の床面積についてお尋ねします。当てはまる番号を回答欄に記入して下さい。 | | 移動前 <input type="text"/> 移動後 <input type="text"/> |
| 1. 20㎡未満 2. 20~40㎡未満 3. 40~60㎡未満 4. 60~80㎡未満 5. 80~100㎡未満 6. 100~120㎡未満 7. 120~140㎡未満 8. 140~160㎡未満 9. 160㎡以上 ※居住室の床面積のほか、玄関・台所・トイレ・浴室・廊下・押入れ等を含めてください。但し、営業用の部分及び他の世帯が使っている部分は除いてください。 ※床面積は1坪(2畳)を3.3㎡に換算してください。 | | |
| ご協力頂き、ありがとうございました。 | | |

(2) 転出者

戸田市人口移動実態調査 ご協力のお願い

日ごろから市政へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
戸田市政策研究所は、戸田市の市政運営について、調査研究を行うことを目的に設置されている機関です。

さて、本研究所では、今後の市政運営に生かすため、転出者の方々への意識調査を実施しております。

この調査は平成21年度中に戸田市から転出された方のうち、18歳以上の方から900人の方を無作為に選んでお願いしております。ご多用のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひこのアンケートにお答えくださいますよう、お願いいたします。

なお、このアンケートに関して個人の意見が公表されることは一切ありませんので、ぜひ率直なご意見をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

平成22年10月

戸田市政策研究所長 山田 一彦

◆ご記入の前に◆

1. 回答のしかた

- ・この調査票は、封筒宛名のご本人がご記入ください。
- ・質問は全部で17問です。各質問の説明に従って、回答欄にご記入ください。筆記用具の種類は問いません。

2. 返送のしかた

回答が済みましたら、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに11月1日(月)までに投函してください。封筒や調査票にご住所・お名前を記入する必要はありません。

3. お問い合わせ

〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1 戸田市役所
戸田市政策研究所
電話 048-441-1800 (内線470)
FAX 048-431-6790
E-mail seisaku@city.toda.saitama.jp

なお、この調査結果につきましては、戸田市ホームページ等で概要を公表する予定です。

戸田市人口移動実態調査票 転出用

| | | | |
|-----|------|------|-----|
| 現住所 | 都道府県 | 市区町村 | 町丁目 |
| 前住所 | 戸田市 | | 丁目 |

次の質問について、あてはまる番号を回答欄に記入して下さい。

I 移動前後の世帯構成等について 【回答欄】

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| 問 1-1 移動前後の世帯の構成についてお尋ねします。 | 【移動前】 1. ひとり世帯 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居 (親と子ども) 4. 三世帯同居 (祖父母と親と子ども) 5. その他 【移動後】 1. ひとり世帯 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居 (親と子ども) 4. 三世帯同居 (祖父母と親と子ども) 5. その他 | |
|-----------------------------|--|--|

II 移動の原因となった方について 【回答欄】

| | | |
|---|--|--|
| 問 2-1 今回移動された方のうち、移動の最も大きな原因となった方はどなたですか。 | 1. 世帯主 2. 世帯主の親 3. 世帯主の子ども 4. 世帯主の配偶者 5. その他 () | |
| 以降の質問は問 2-1 で答えた方 (移動の最も大きな原因となった方) についてお尋ねします。 | | |
| 問 2-2 問 2-1 で移動の最も大きな原因となった方の移動時の年齢についてお尋ねします。 | 1. 14 歳以下 2. 15～19 歳 3. 20～24 歳 4. 25～29 歳 5. 30～34 歳 6. 35～39 歳 7. 40～44 歳 8. 45～49 歳 9. 50～54 歳 10. 55～59 歳 11. 60～64 歳 12. 65～69 歳 13. 70～74 歳 14. 75 歳以上 | |
| 問 2-3 問 2-1 で移動の最も大きな原因となった方の性別についてお尋ねします。 | 1. 男性 2. 女性 | |
| 問 2-4 問 2-1 で移動の最も大きな原因となった方の職業についてお尋ねします。 | 1. 専門職 (医師、弁護士、大学教授、僧侶等) 2. 管理職 (官公庁や事業所の重役、部長等) 3. 事務・技術職 (一般事務員、公務員、技師、保育士、看護師等) 4. サービス従事者 5. 販売・生産・労務職 (店員、工員、職人、運転手、作業員など) 6. 農林水産業従事者 7. パート従事者 8. 学生 9. 自営業 10. 家事に専念している主婦 11. 無職 12. その他 () | |
| 問 2-5 問 2-4 で 1～8 と答えた方にお尋ねします。現在の通勤・通学場所について記入して下さい。 | <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> 都道府県 <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> 市区町村 | |
| 問 2-6 問 2-1 で移動の最も大きな原因となった方は、戸田市には何年お住まいでしたか。 | 1. 1 年未満 2. 1～3 年未満 3. 3～5 年未満 4. 5～10 年未満 5. 10～20 年未満 6. 20 年以上 | |
| 問 2-7 問 2-1 で移動の最も大きな原因となった方は、現在お住まいの市区町村には以前にも住んでいたことがありますか。 | 1. 初めて 2. 住んでいたことがある | |
| 問 2-8 問 2-7 で「2. 住んでいたことがある」と答えた方に伺います。以前には何年お住まいでしたか。 | 1. 1 年未満 2. 1～3 年未満 3. 3～5 年未満 4. 5～10 年未満 5. 10～20 年未満 6. 20 年以上 | |

III 移動理由について 【回答欄】

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------|--------|---|-----------|---------------------------------------|------------|--|-------|------------------|-----|---|--|
| 問 3-1 移動のきっかけとなった理由を下記 (1～18) の中から選んで番号を記入して下さい。 ※第 2 理由についてはある方のみで結構です。 | | | | | | | | | | | | | |
| <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">学業上の理由</td> <td>1. 入学・進学</td> </tr> <tr> <td>職業上の理由</td> <td>2. 就職 3. 転職 4. 転勤 5. 家業継承 6. 定年退職</td> </tr> <tr> <td>住宅を主とする理由</td> <td>7. 住宅事情 8. 生活環境上の理由 9. 通勤通学の利便性</td> </tr> <tr> <td>親・子との同居・近居</td> <td>10. 親と同居 11. 親と近居 12. 子と同居 13. 子と近居</td> </tr> <tr> <td>結婚・離婚</td> <td>14. 結婚 15. 離婚</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>16. 子育て環境上の理由 17. 健康上の理由 18. 親等の介護 19. その他 ()</td> </tr> </table> | 学業上の理由 | 1. 入学・進学 | 職業上の理由 | 2. 就職 3. 転職 4. 転勤 5. 家業継承 6. 定年退職 | 住宅を主とする理由 | 7. 住宅事情 8. 生活環境上の理由 9. 通勤通学の利便性 | 親・子との同居・近居 | 10. 親と同居 11. 親と近居 12. 子と同居 13. 子と近居 | 結婚・離婚 | 14. 結婚 15. 離婚 | その他 | 16. 子育て環境上の理由 17. 健康上の理由 18. 親等の介護 19. その他 () | 第 1 理由 <input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/> 第 2 理由 <input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/> |
| 学業上の理由 | 1. 入学・進学 | | | | | | | | | | | | |
| 職業上の理由 | 2. 就職 3. 転職 4. 転勤 5. 家業継承 6. 定年退職 | | | | | | | | | | | | |
| 住宅を主とする理由 | 7. 住宅事情 8. 生活環境上の理由 9. 通勤通学の利便性 | | | | | | | | | | | | |
| 親・子との同居・近居 | 10. 親と同居 11. 親と近居 12. 子と同居 13. 子と近居 | | | | | | | | | | | | |
| 結婚・離婚 | 14. 結婚 15. 離婚 | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 16. 子育て環境上の理由 17. 健康上の理由 18. 親等の介護 19. その他 () | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|--|--|--|
| IV 居住地選択の理由について | | 【回答欄】 |
| 問4-1 居住地として現在お住まいの市区町村を選択した理由をお尋ねします。 次の項目(1~20)から2つ選び、該当する番号を優先順位の高いものから回答欄に記入して下さい。 | | 第1理由 <input type="text"/> 第2理由 <input type="text"/> |
| 1. 通勤・通学が便利であるから 2. 買い物等日常生活が便利だから 3. 道路事情がよいから 4. 広域的な公共交通の利便性が高いから 5. 市内公共交通の利便性が高いから 6. 良好な住環境が整備されているから 7. 子育て環境が充実しているから 8. 高等教育機関が充実しているから 9. 治安がよいから 10. 医療・福祉が充実しているから 11. 自然災害が少ないから 12. 公園や自然環境が豊かであるから 13. スポーツをする場が豊富であるから 14. 文化施設が充実しているから 15. 中心市街地に活気があるから 16. 就業の場が豊富であるから 17. 生まれ育ったところだから 18. 親等親族の居住地から近いから 19. あらかじめ住居が用意されていたから 20. その他() | | |
| V 現在お住まいの市区町村への定住意向について | | 【回答欄】 |
| 問5-1 現在お住まいの市区町村には、今後も住み続けたいと思いますか。当てはまる番号を回答欄に記入して下さい。 | | <input type="text"/> |
| 1. ぜひ住み続けたい 2. できれば住み続けたい 3. できれば他の市区町村に移りたい 4. ぜひ他の市区町村に移りたい 5. わからない | | |
| VI 戸田市への帰還意向等について | | 【回答欄】 |
| 問6-1 機会があれば戸田市に戻りたいと思いますか。当てはまる番号を回答欄に記入して下さい。 | | <input type="text"/> |
| 1. ぜひ戻りたい 2. どちらかといえば戻りたい 3. どちらかといえば戻りたくない 4. 戻りたくない | | |
| 問6-2 問6-1で「1. ぜひ戻りたい」又は「2. どちらかといえば戻りたい」と答えた方に、その理由をお尋ねします。 次の項目(1~20)から2つ選び、該当する番号を優先順位の高いものから回答欄に記入して下さい。 | | 第1理由 <input type="text"/> 第2理由 <input type="text"/> |
| 1. 通勤・通学が便利であるから 2. 買い物等日常生活が便利だから 3. 道路事情がよいから 4. 広域的な公共交通の利便性が高いから 5. 市内公共交通の利便性が高いから 6. 良好な住環境が整備されているから 7. 子育て環境が充実しているから 8. 高等教育機関が充実しているから 9. 治安がよいから 10. 医療・福祉が充実しているから 11. 自然災害が少ないから 12. 公園や自然環境が豊かであるから 13. スポーツをする場が豊富であるから 14. 文化施設が充実しているから 15. 中心市街地に活気があるから 16. 就業の場が豊富であるから 17. 生まれ育ったところだから 18. 親等親族の居住地から近いから 19. あらかじめ住居が用意されていたから 20. その他() | | |
| 問6-3 問6-1で「3. どちらかといえば戻りたくない」又は「4. 戻りたくない」と答えた方に、その理由をお尋ねします。 次の項目(1~20)から2つ選び、該当する番号を優先順位の高いものから回答欄に記入して下さい。 | | 第1理由 <input type="text"/> 第2理由 <input type="text"/> |
| 1. 通勤・通学が不便であるから 2. 買い物等日常生活が不便だから 3. 道路事情が悪いから 4. 広域的な公共交通の利便性が低いから 5. 市内公共交通の利便性が低いから 6. 良好な住環境が整備されていないから 7. 子育て環境が充実していないから 8. 高等教育機関が充実していないから 9. 治安が悪いから 10. 医療・福祉が充実していないから 11. 防災面での強化、充実が図られていないから 12. 公園や自然環境が豊かでないから 13. スポーツをする場が豊富でないから 14. 文化施設が充実していないから 15. 中心市街地に活気がないから 16. 就業の場が少ないから 17. 生まれ育ったところではないから 18. 親等親族の居住地から遠いから 19. 他に住む住居が用意されているから 20. その他() | | |
| VII 移動前後の住宅の所有関係等について | | 【回答欄】 |
| 問7-1 住宅の所有関係についてお尋ねします。当てはまる番号を回答欄に記入して下さい。 | | 移動前 <input type="text"/> 移動後 <input type="text"/> |
| 1. 持家(一戸建) 2. 持家(分譲マンション) 3. 公営住宅(公団・公社・市営住宅等) 4. 民間の借家(一戸建) 5. 民間の借家(アパート・賃貸マンション等) 6. 給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮等) 7. 学生寮 8. 間借り・下宿 9. 施設(病院・福祉施設等) 10. 親戚の家 11. その他() | | |
| 問7-2 住宅の床面積についてお尋ねします。当てはまる番号を回答欄に記入して下さい。 | | 移動前 <input type="text"/> 移動後 <input type="text"/> |
| 1. 20㎡未満 2. 20~40㎡未満 3. 40~60㎡未満 4. 60~80㎡未満 5. 80~100㎡未満 6. 100~120㎡未満 7. 120~140㎡未満 8. 140~160㎡未満 9. 160㎡以上 ※居住室の床面積のほか、玄関・台所・トイレ・浴室・廊下・押入れ等を含めてください。但し、営業用の部分及び他の世帯が使っている部分は除いてください。 ※床面積は1坪(2畳)を3.3㎡に換算してください。 | | |
| ご協力頂き、ありがとうございました。 | | |

2. 戸田市人口移動実態調査 分析結果

※平成 23 年 1 月に分析結果が明らかになるため、その後記述する。

3. まちづくり戦略会議の記録

○会議経過

| | |
|-------|--|
| 第 1 回 | 平成 22 年 5 月 13 日 11:00～ 議案「(仮称)戸田市シティセールス戦略策定について」 ●戦略策定の意義について ①首長の地域経営方針を示すため、地域の関係者へのシティセールスの方向性を明示する。 ②戸田市のシティセールスの目的達成のため、施策・事業の構造、スケジュール、活動等を明確にした手順書を作成する。 ●今後のスケジュール等について |
| 第 2 回 | 平成 22 年 6 月 30 日 15:30～ 議案「戸田市シティセールス戦略骨子(案)について」 ●骨子案の検討および推進体制の検討について ①観光協会・商工会・公園緑地公社等の外部団体の参加について、今後調整を図る。 ②推進戦略のターゲット設定にあたって、平成 21 年度の転出入動向調査を、過去 3 年間に拡大して調査する。 ③推進戦略 1「様々なメディア、機会を活用した情報発信」、推進戦略 2「発見！戸田市の魅力」については、各部局単位でアンケートを実施する。 |
| 第 3 回 | 平成 22 年 7 月 29 日 14:00～ 議案「戸田市シティセールス戦略骨子(案)について」 ●市民の転出入状況調査結果について ①平成 19～ 21 年度の転入者および転出者の状況報告を受けて、ターゲットを確定する。 ●各部局からの推進戦略(案)について ①推進戦略(案)の検討をする。 ②各部局単位に、推進戦略のイベントの内容・参加人数・場所・シティセールスの視点等について、追加のアンケートを実施する。 |
| 第 4 回 | 平成 22 年 8 月 23 日 13:30～ 議案「戸田市シティセールス戦略骨子(案)について」 ●推進戦略(案)の担当課の確定および予算化への対応確認。 |
| 第 5 回 | 平成 22 年 9 月 27 日 9:30～ 議案「戸田市シティセールス戦略(案)について」 ●戸田市シティセールス戦略の確定。 |

4. まちづくり戦略会議メンバー

| 平成 22 年度戸田市まちづくり戦略会議メンバー | | | |
|--------------------------|------------|--------|-----|
| | 職名 | 氏名 | 備考 |
| 1 | 政策秘書室長 | 山本 義幸 | |
| 2 | 総務部次長 | 奥墨 章 | |
| 3 | 財務部次長 | 鈴木 敏貞 | 会長 |
| 4 | 市民生活部次長 | 辰口 文義 | |
| 5 | 福祉部次長 | 大泉 敏博 | |
| 6 | こども青少年部次長 | 島崎 眞一 | |
| 7 | 都市整備部次長 | 中村 龍一 | 副会長 |
| 8 | 医療保健センター次長 | 須山 梅子 | |
| 9 | 水道部次長 | 徳永 廣明 | |
| 10 | 消防本部次長 | 森谷 精太郎 | |
| 11 | 教育委員会事務局次長 | 細渕 栄二 | |